

国分寺報

発行
 真言宗国分寺派
 大本山国分寺教学部
 〒531-0064
 大阪市北区国分寺
 1-6-18
 06-6351-5637
 発行責任者 糟谷 真教



まもなく竣工の講堂を境内より望む

辛丑
 今和三年
 大本山国分寺
 和教

ご挨拶

楽しみを増やすことを心がけて

真言宗国分寺派 管長
 大本山国分寺 座主

合田 和教



あけましておめでとう
 ございます。

旧年中は、すべてを考
 えさせられた一年でし
 た。寺のあり方、行事の
 行方等々、初めてのこ
 だらけ、経験のない中、
 手探りで「安全」「安心」

を心がけて過ごしました。本年においてもまだまだ未
 験の連続の中、より一層の「安全」「安心」を心がけ、い
 かに過ごして行くべきかを悩んでいます。ひとつの反省
 からいいますと、もつと自然体であった方が良かったの
 かもしれません。

あるものはある、ないものはない、出来る事はやり、
 出来ない事を知る。そんな中であるものを増やし、楽し
 みを見つめる。ないものは初めからないこと、考えるこ
 とを「ある」「ない」に集中することもひとつの生活です。
 何もむずかしく生きるよりも楽しく生きることを心がけ
 て生活することを、今年一年、過ごしてみたいと思っ
 ています。

ひとつ楽しみを増やす事を心がけて自然に則した生き
 方を、「ありがとう」と言える日々を、「ごちそうさま」
 と言える喜びと共にしたいと思います。
 どうぞ今年もよろしくお願ひ申し上げます。

合掌

変化に向け 粘り強く生きる年に

大本山国分寺 顧問会会長 中村 興司

謹んで新春を寿ぎ、皆さまのご健康とご繁栄をお祈り申し上げます。

2020年を振り返ると、1月末に英国のEU離脱が実現し、8月は日本



で歴代最長となる7年8ヶ月続いた安倍政権が突然の終わりを告げ、11月には大阪市で大阪都構想をめぐる住民投票が実施され、アメリカでは4年に1度の大統領選挙が行われました。その一方で、2013年の最終選挙結果で日本中が喜びに沸いた東京オリンピックが延期となるなど、年間を通じてコ

ロナウイルスに世界中が翻弄されました。「三密」「ソーシャルディスタンス」「ステイホーム」など、「ニューノーマル」と呼ばれる、新しい生活様式は私たちの日常にも大きな影響を及ぼし、今までの普通は一変しました。

「自粛」という言葉が連日メディアで繰り返されておりますが、人が動かなくなる、物が動かなくなり、結果的には経済も停滞します。コロナ拡大前までは海外から大勢の旅行者が日本を訪れ、「爆買い」という現象も起こりましたが、今では夢のような遠い過去の話のように感じます。

今年の干支は「辛丑」です。「辛」という文字は「草木が枯れ、新しくなる」として「辛」を表し、新しくなる過程では「つらい」「からい」が同時に発生するという意味をもつそう

です。そして、「丑」という文字は「芽が種子の中で伸びようとしている状態」を表す中国の漢字で、それが後に「牛」という覚えやすい文字に変化しました。

「牛」は古くから耕作においても人々を助けてくれる存在として重要な生き物でした。大変な農業を地道に最後まで手伝ってくれる様子から、「誠実に粘り強く物事を進め、成長を続ける事ができる」という特徴があります。

令和3年は「新しい変化に向けて、粘り強く物事を推し進める年」になるかもしれません。未来を予測する事が困難な今、変化を前向きに捉える気持ちを持ち続け、夢と希望を持って生きる事は大切な事です。

国分寺では新しく講堂が完成し、お彼岸の頃には皆さまにもご利用頂ける予定です。これからお気軽に国分寺へお越し頂き、新しくなった講堂で皆さまと「健康」と「幸せ」を祈願し、益々発展していきたいと思っております。

末筆にはなりますが、旧年中も国分寺運営のために多大なご協力を皆様から賜りました事を厚くお礼申し上げます。今後も引き続きご支援、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

合掌

檀信徒と地域コミュニティの場誕生へ

閉塞感による自殺者増加に危惧

宗務総長 糟谷 眞教

あけましておめでとございます。昨年は有史以来といっても過言ではないコロナウイルス感染症の猛威が世界中を駆け巡り、今なお終息の兆しが見えぬまま新年を迎えることとなりました。光明と言えばワクチンの開発がそろそろ見えてきたことでしょうか。い

ずれにしましてもこの様な状況はこれだけ科学や医療が発展している世の中になっても、国分寺が創建され

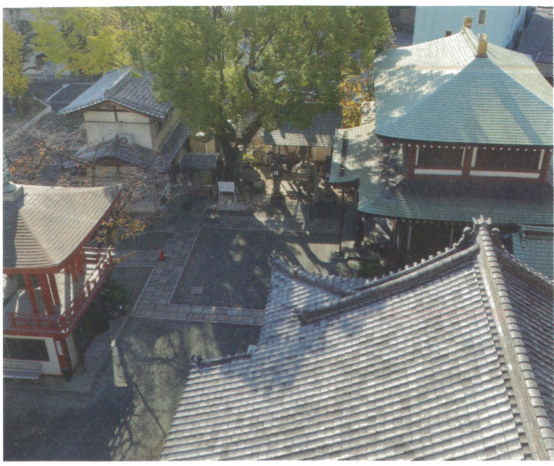
た奈良時代と何ら変わることなく危機は再来するということがあらためて証明されてしまいました。

そして私が最も心苦しいのは長引く閉塞感、先行き不安から自死の方が恐ろしいほどに増加していることです。本当に悲しい事です。人間は進化の中で言葉を操り、コミュニケーション能力に長けているはずなのですが、残念ながら現在の世の中はその力を発揮せ

ずとも生きることが出来ます。スマホやその他通信システムを使えば、直接会うことなく姿を見たり会話をすることが出来るようになってしまいました。しかしふれあいでは生まれる人のぬくもりまでは感じる事が出来ず、昔のようにお隣の喧嘩や出合いの挨拶、気配を感じなくても生活が出来てしまいます。戦後、急速に発展し最先端の技術の進歩も驚くべき速さで、少

路にそって地下1階地上4階の立派な建物の中には最上階に僧侶育成の場所である講堂、3階は様々な来賓も迎え入れることが出来る多目的室。そして地下1階、2階は国分寺従来の檀信徒の皆様のみならず新しい檀信徒の皆様もお迎えする納骨施設、1階はロビーとなっており、特に講堂は、この混んとした時代に道しるべとなる僧侶の育成が必要不可欠と考え一層重要な施設でもあり檀信徒の皆様にも使用して頂ける多目的にも使える工夫がなされています。ぜひ失われつつある、人々が気軽にふれあえる場所、檀信徒のみならず地域の皆様のコミュニティとしても使って頂けると幸いに存じます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

合掌



総本山・各寺院・講社御用達

土産物一式、各種念珠、仏具仏像、位牌、軸物、仏書経木、経木塔婆、各種守札、杓子、金剛流御詠歌法具、教典一式

衛兵佳屋数珠佳

たんげ

和歌山県高野山 電話高野(0736) 2159番 振替 00960-8-68291 郵便番号 648-0211

MK 良い材料で良い住まい

生コン・建築材料・工具資材全般・リフォーム・外柵・ブロック・各種工事施工

(株)マキタ特約店

有限会社 南建材社

〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目12番4号
TEL 06-6351-5516 (代表)・4698
FAX 06-6353-6439
URL http://www.minamikenzai.co.jp

家族葬専門葬儀社

山葬 yamasou

1. 山葬はご家族の想いを大切にいたします。
2. 精一杯お手伝いさせていただきます。
3. ご家族・友人でおくる低価格の家族葬をご提案いたします。

〒530-0026 大阪府大阪市北区神山町10-13 KENTUCKY II 501
TEL 06-6365-1771 FAX 06-6365-1772
携帯 090-7487-6889 (山本)
E-mail yamasoumail@gmail.com
URL http://www.nisso-osaka.com

国分寺御廟・講堂落慶法要を準備

執事長 名幸 観教

皆様あけましておめでとうございます。昨年もコロナ禍にもかかわらず多くの皆様に護持、参拝いただきありがとうございました。

昨年を振り返りますと動きがとりづらいい中でありましたが、金剛峯寺・西大寺・中山寺と真言宗3カ寺の本山へ表敬訪問いたしました。表敬訪問を行うにあたり、各本山職員の皆様の御尽力を頂く中で、私や平賀執事の同期や友人が表敬訪問や法要出仕にあたり、各本山の重役様に少しでも国分寺の考えが解って頂けるよう根回し下さった事に感謝し、普段、皆さんと「将来この様にやりたいよね」など、何気ない会話から始まったことが執行出来た喜びも感じています。

本年は令和5年の弘法大師御誕生1250年記念大法会に向けて香川県善通寺への事前打ち合わせと座主表敬訪問、また国分寺におきましては国分寺御廟・講堂落慶法要の準備を進めております。

私自身、昨年の上半期は各行事の種蒔きでのんびりと過ごしていたのですが、下半期は3本山への表敬訪問執行や太元大法出仕・国分寺講堂建設の件

で打ち合わせと執行の連続で走り回っていました。その中で感じたことは、10年前の国分寺と比べますと真言宗各本山や他宗派の方々皆様の国分寺への評価と期待値は、比べ物にならないくらい上がってきていると思います。またその期待値の分、我々はしっかりと計画を立て信頼と実績を積み重ねてい

わたしのテーマは「繋がり」です

執事 平賀 照教

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。昨年は、コロナ禍の大変な中で皆様にお参りしていただきありがとうございます。上半期は、緊急事態宣言もあり思うように出張や行事を行うことができず、下半期になりやっと予定していたすべての行事を無事に終えることができ感謝しております。

今回のわたしのテーマは『繋がり』です。私が繋がりというテーマにした理由の一つは、下半期に行われた『高野山表敬訪問』、『太元大法』、『西大寺表敬訪問』、『中山寺表敬訪問』これらの行事すべてが人との繋がりから実現したからです。これらの行事を実現するにあたって、私と名幸執事長で話している中で、コロナ終息後に国分寺の

かなければならないと考えています。今後も国分寺や国分寺派が発展いたしますよう、勉強に励んでまいりますので、皆様のお知恵と経験を頂けましたら幸いです。

本年も皆様とお会いできることを楽しみにしております。

合掌

檀信徒の皆様にとのようでしたら以前以上に参加していただけるか、国分寺の法要を充実させるためにどうあるべきかと考えたところ、まずは私達がお付き合ひのある寺院に足を運んで法要に参加してみようとはじめました。

中山寺では、毎年2月に行われる節分会に参加し、高野山では団体参拝の奥の院、金剛峯寺、壇上伽藍の観光ガイドのお手伝いで行き、西大寺では、大茶盛式に参加することができました。これらの法要に参加したことによって各寺院の僧侶の方々と話す機会ができた、次第にお会いする回数も増えていきました。この繋がりがきっかけになりました。一度、各寺院様に御礼も兼ねて表敬訪問させていただきませんかという問い合わせたところ、快く引き受けていただき実現することができました。

太元大法では、中山寺の僧侶の方と頻繁にお会いすることがあり、中山寺の村主名譽管長猥下が高野山で行われる太元大法に出仕するという話を聞き、法要を遠目からでも見せていた

けることはできませんか？と無理を承知でお願いしました。すると太元大法の理性院流伝授を受けなさいと言われ、村主名譽管長猥下から受けさせていただけることになりました。

私達が太元大法に出仕させていただく日が11月24日、25日と二日間に渡り三座あり、24日の一座が終わった日の夜には村主名譽管長猥下が宿泊されている宿坊に御挨拶に行かせていただき、その日の法要の感想をお話している中で、村主名譽管長猥下から「貴方達に太元大法を経験させることが出来てよかった。この経験を周りに伝えて成長して行ってほしい。」とありがたい言葉をいただき、驚きのあまり、緊張の糸が解け嬉しかったのと、伝えなれないと責任感を持ったこと、今でも覚えています。

今回、私は行事を執行するにあたりたくさんの方々に協力していただきました。人との繋がりとというテーマは今回で終わりではなく3年後に行われる、弘法大師御誕生1250年に向けてこれからも続いていきます。人との繋がりを大事にして、またその繋がりを私の周りにも広げて行けたらと思っています。最後になりますがこれから感謝の気持ちを持って、皆様に良い報告ができるようにして参りますのでよろしくお願ひします。

合掌

仏様のお力で生まれるキセキで

岩尾 観水

明けましておめでとうございます。旧年中は、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るう中、皆様から温かい御配慮を頂き、一年を乗り切ることが出来ました。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

昨年、月参りをさせて頂いたときに檀家様よりお聞きしたお話を皆様にお話ししたいと思ひます。檀家様のお友達のお話です。その方は、お兄様を32年前に亡くされておりました。お寺で三十三回忌法要が営まれ、お墓に立ち寄られた時の事です。なんと、32年前に亡くなったはずのお兄様が墓の前で手を合わせていたのです。驚きを隠せないまま近づき声をかけてみるとその方は、32年前当時一歳であったお兄様の御息だったのです。32年前、お兄様の葬儀の後、一切連絡がとれなくなつたそうでお会いするのも32年ぶりだったそうです。お嫁さんは再婚され名前が変わりましたが、甥っ子さんは苗字はそのまま、色々肩身の狭い思いをされながら過ごされてきたそうです。墓参りの際、誰かが花を供えていたり、誰かがお参りをしていたことは、気づいていていたそうですが、まさ

か、あの赤ん坊だった甥っ子がお兄様と瓜二つの姿で。

檀家様のお友達は、感動の気持ちで胸がいっぱいになり、「お兄さんが引き合わせてくれた一つのキセキ、ありがとう」と思い、墓前で合掌をしたそうです。

お話を聞かせて頂き、まず素直に感動致しました。その後を考えれば考えるほど多くの不思議、いや仏様がなし

コロナに全力集中

木田 知行

コロナの呼吸。今一番叫びたくない言葉です。どうせなら、今はやりの水やら炎を叫びたいですね。水で洗い流し、炎でウイルスを焼き尽くすみたいなイメージがありますからね。

去年は、見事にコロナで始まりコロナで終わった一年でした。隣国の大都市で発生したとニュースで一報を聞いたときは、誰がここまで全世界に広がると思つてたでしょう。或いは一部の専門家の人たちは予想してかもしません。しかしその声はあまりにも小さくその国の上層部に届くことはありませんでした。その後それが「新型」のウイルスであることがわかりました

が重要視されることはありませんでした。

もし、最初の段階で対処が間に合っていれば、今と同じように全世界に広がっていても状況は違っていたかもしれない。もちろんある一国に責任などということはいたしません。これだけ全世界に拡大した一番の原因は、これだけの大規模感染を現世代が体験してこなかったためだということです。もちろん、それはとても良いことなんです。逆に弱点にもなっていると私は思っています。

かつて、人類史上もつとも死者(推定一億人)を出したスペイン風邪と呼ばれるインフルエンザがあったのが1918年〜1920年でこれについて発生源は不明で、最初の発病者はアメリカ人の兵士だったそう。そこから感染がはじまり、ちょうど第一次世界大戦に参加中であつたため基地中に

会わせて頂いた事に感謝の意味もこめて、改めて檀家様の家の仏壇で合掌致しました。

皆様、心の温まりは、安心を生み不安を少しやわらげてくれます。このコロナという不安を、沢山の安心を集めて乗り切りたいと思ひます。良いお話があれば、お参りの際に教えてくださいます。

合掌

広がり、遠征中の国々へ広がっていき、さらには戦意維持のために情報統制が行われたようです。第一波はオーストラリアに迫りそこで収まったようですが、第二波は変異したウイルスが再び猛威を奮い第三波ではついにオーストラリア、ついで日本にも到達したそうです。もつと遡れば黒死病(ペスト)や、コレラなど名をあげればきりが無いほどあります。人類の歴史はウイルスとの戦いでもあるわけですね。今、我々が出来ることは多くはないですが、手洗い、消毒、マスクの三つは、これからもしっかりとやっていくたいですね。そのうえでいろいろ行動するのは良いと思ひます。今年もワクチンなども出てくるというニュースもありませんので、全力集中でウイルスを迎え撃ちましょう。

合掌

国分寺 自動搬送式納骨堂「国分寺御廟」 今春1月完成予定

販売会社：株式会社霊園・墓石のヤシロ



屋内だから
気にせず快適！



今年春、国分寺に『新しいお墓の形』カード認証型自動搬送式納骨堂「国分寺御廟」が完成致します。

自動搬送式納骨堂は、現代のお墓において現在考えられるもっとも負担が少なく従来型のお墓と同じ様にお参りができる新しいお墓となります。手を合わせる場所に墓石があり故人様と直接向き合ってお参りすることが可能で、承継者がいなくなった場合お墓じまいも不要で、その後は国分寺が永代にわたってご供養を行い次世代の子供や孫に負担を残さないお墓です。

お参り手順は簡単で、建物1F受付カウンターにて、専用カードをかざして案内される参拝室に向かいます。お参りいただく参拝室に向かっている間に、故人のお骨を収めたお箱「厨子」が参拝室の墓石にセットされ参拝の準備が整います。

お参りいただく館内はオールバリアフリー、全フロアが冷暖房完備でお盆の暑さ、年末の寒さや急な雨天時にもお参りに配慮されている設備です。参拝のお部屋は、個別の広々とした空間で、お墓のお花やお焼香などの清掃は全て管理スタッフが行いますので手ぶらでお気軽にお越しいただけます。

今年1月23日以降、現地にて先行個別案内会を行っており衛生対策と感染予防対策を徹底し密にならないよう完全予約制としております。墓じまいのご相談も承っておりますので、お気軽にご来館予約くださいませ。

資料請求・現地見学のご用命は、株式会社霊園墓石のヤシロ TEL:0120-140-846

国分寺御廟 販売価格：

- ・スタンダードタイプ 4名様推奨 100万円 ※別途年間護持費
- ・プレミアムタイプ 6名様推奨 130万円 ※別途年間護持費

国分寺派のお寺 その8

明王寺

札幌の「阿字観」道場そして
北海道88カ所霊場の第66番札所

住職 佐藤 実峰



第二世明光が晋山いたしました。平成18年に開創した北海道八十八ヶ所霊場に参加し第



ました。現住職実峰はおよそ10年前より真言宗の座禪瞑想法であります阿字観の実修会を月1回開催しております。始めた当時は札幌市に阿字観を定期的に行う道場はありませんでした。阿字観が普及して、多くの人々が心を穏やかにすることができればとの思いから道場を開きました。お寺で開催する実修会や出張しての阿字観道場などで、延べ千人程の方と一緒に座らせていただいております。中興300年の法要の時には国分寺にて阿字観道場を開催し多くの方に体験していただきました。阿字観に興味

がございましたら出張いたしますのでどうぞ声をお掛け下さい。

平和山明王寺の始まりは昭和42年、明岳が明王不動協会を開創したことに始まります。その後、札幌市西区平和、札幌市北部・東部を見渡すことのできる高台に昭和52年、不動明王の啓示により衆生を見守るためのお寺として平和山明王寺を開基明岳が建立しました。当時は祈願祈祷の道場であり、不便な土地にありながら信者さんの絶えないお寺でした。翌年には明岳が巡拝をして特に気にいった小豆島八十八ヶ所霊場の石仏と修行大師像を信者さんの協力により建立しました。昭和60年、開基住職明岳遷化に伴い



六十六番札所となり、境内に霊場札所御本尊千手観音を安置し、巡拝者が祈りを捧げることのできる観音堂を檀信徒皆さんのご協力により自らの手で建立しました。北海道八十八ヶ所霊場は四国八十八ヶ所霊場の3倍の距離があ

八十八ヶ所霊場と一顧不動明王ののりがはためく賑やかな境内となりました。

令和2年7月、35年に渡り住職を務めた第二世明光が住職を退き、第三世実峰が晋山し、明光は名誉住職となり

最後になりましたが、令和2年7月28日、私、実峰は平和山明王寺の住職に晋山致しました。コロナ禍の中で猥下を初め本山の方々、また諸大徳様をお招きせずに晋山式を執行し失礼を致しました。しかしながら、檀信徒皆様にお祝いをさせていただくことができても幸せです。これからは、寺内安穩、興隆密教のため、また、大本山国分寺の為に微力ながら力を尽くして参る所存でございます。どうぞよろしくお願いたします。

入寺職員のご挨拶

「?」の連続で毎日が勉強です

大森 真弓

この度、ご縁有って令和2年に入寺致しました、大森真弓と申します。配属は総務部です。大阪府茨木市に生まれ、その後両親が引越好きだったので、茨木市→大阪府豊能郡→明石市→奈良市。(現在は大阪市内に居住)その結果、梱包や段ボール解体がとても上手くなりました!



性格は明るく親しみやすく、打ち解けやすいと友人から言われています。初対面の相手の方から「10年来の友達みたいな感じやな」とも。そして10人中8人までが「知ってる人に似てる」と言われます。

趣味は体を動かす事。休日は徒歩や自転車出かけます。若い時はジャズダンス、ウィンドサーフィンなどをしていましたが、今は手軽なスポーツに切り替えました! 天候に恵まれてい

る時はハイキングか自転車です。雨風強い時には歩きで。自転車だと往復100km、歩きだと往復25km、60km程度の距離。街なかであっても、山(自転車は行ける所まで)であっても場所は限定なしです。行けそうな道があれば進む。面白そうな路地に入り込む。でも、行き当りばつたりのデータもルート。目的地は同じでもルートはコロコロ変わります。なので二度と行かない場所もあったりして。知っているようで知らない街。変な建造物や景色抜群の場所に到着したり、思わぬ大発見があったり。毎回楽しいワクワク感も味わえます。

こんな「近畿ディープ?日帰り探検ツアー」もしご興味がおありの方は是非ご参加下さい。

さて、お仕事の話。以前の職歴は彩り豊か。事務、営業、システム開発補助、デザイン、レストランサービス、家事代行、経営者などの経験があります。この度はお寺のお仕事。毎日新鮮で驚きの連続。僧侶様同士が話す言葉は宇宙語。(一般人の感想です) わ

からないことだらけです。お香の薫鐘の音、何もかも俗世から離れた時空。そう!お寺はワンダーランド! お寺や仏様、法要のコトを知る事ができるロケーション。そこで働けるとは何と幸せな私であります。

しかしながら只今の状況、色んな物事の名称すらもチンプンカンプン。毎日毎回「?」の連続です。言われてパッと反応できず固まっていることも多々あります。このように無知でトンチンカンな私に、住職をはじめ、総長、諸先輩方は、根気よく親切丁寧にご指導下さいます。有難いことです。

今後の目標として、第一段階は、ひとつひとつを大切に実行していくこと。来られた方の顔と名前を覚える。場数を踏む。そしてアンテナを張り巡らす。周りの空気を読みながらも集中し、日々の出来事を噛みしめ、意味を考える...毎日勉強です。少しづつでもいいから前進し続けていきます。

二段階目は、「今何をすべきか」を知り、無理無駄なく自然と実行できるようにになりたいです。

このような至らぬ私ですが、「わからないこと」はほとんどお聞きして仕事をできるように努力して参りますので、皆様、どうかご指導・ご鞭撻下さいませ、何卒よろしくお願い致します。外周掃除の時など、箒を持ってうるうるしていますので、何時でも何処でも見かけたら気軽に声を掛けくだ

さいませ。皆様にお目にかかるのをとても楽しみにしております。

合掌

追記

西大寺様へ表敬訪問の折り、誠に厚かましい話ですが、私も写真班として同行させて頂きました! 大茶盛りについては今年はコロナ禍で中止なのですが、少し小さめ(それでも普通のお茶碗よりは大きめ)のお茶碗で一人づつお点前を頂きました。結構重い。お茶筌やお籠もケタ外れに大きいのですよ。お抹茶は美味しいだけではなく、成分であるカテキン、テアニンは殺菌効果やリラックス効果もあるそうです。お抹茶の深い味わいとともに、お茶を点て下さった方のお心遣いが身に染みる一服でございました。

創業80年 葬儀社花熊 家族葬専用式場

Flowber Hall

花熊フローベアホール 大阪市北区長柄西1丁目3-33
北斎場前 0120-130-930

大本山国分寺 令和3年度上半期予定表

十二月三十一日 二十三時四十五分
一月一日 正月会(除夜の鐘)
二月一〜七日 節分
(金光明最勝王経秘宝祈願会)
三月春分の日 春彼岸会
五月第三日曜日 国分寺会

節分
二月一日より一週間皆様から集められたお祈り事を一心に御祈願する法要です。(注)非公開

春彼岸会

三月春分の日に行う先祖供養の法要です。午前九時ごろより午後三時頃まで、卒塔婆に戒名を写し回向を行ってあります。午後一時より【総廻向】国分寺僧侶全員による廻向が行われます。

国分寺会

一年に一回、国分寺にて執行される真言宗国分寺派の大法会です。全国より国分寺派教師が集まり廻向や祈願を行う法要です。
○本年度の春の団体参拝は新型コロナウィルス感染症の影響を鑑み中止とさせて頂きます。

健太のひとりごと13

「健太のひとりごと」を書かせていただいたから6年が経ちます。私がこの記事を書くきっかけになったのは、国分寺寺報の新聞会議で名幸執事長が以前、「職員のひとりごと」という記事を書かれていて、その引継ぎで、俗名で自分の感じたことを記事にしてみました。面白くないと職員の皆様から後押しがあり始めました。お気づきの方もおられるとは思いますが、この記事を書かせてもらっています。平賀照教です。

今回、名前を出さずきっかけになったのは、6年間続いた「健太のひとりごと」の記事を書くのがこれで最後になりました。

編集後記

令和二年は歴史に深く刻まれる年になりましたが本年はどんな一年になるのか今から楽しみと前向きに考えたいもので御座います。皆さんはどんな楽しいことを考えていますか? 日々良いこと、悪いこと、さまざまありますが、悪いことが続くといついついそちらの引力が強く吸い寄せられるのが常で御座います。何事も当たり前ではなく今あることに感謝する、そして良い方向に考えることを忘れず日々過ごしたいものです。



計報

平成12年より御供所で勤務されておりました竹澤成時氏が令和2年11月23日にご逝去されました。(享年88歳)皆様ご存知の通り字が上手くとても博識の方でありました。生前のご厚情に心より深く感謝申し上げます。合掌

光堂 翠光堂 仏壇 仏具

淡路駅前店 〒533-0032
大阪市東淀川区淡路4の9の12
電話 06(6324)0801(代表)

寶蔵寺・南野霊園

私たちは
感謝の気持ちをこめて
安価なお墓を
提案しています。

〒575-0022 四條畷市南野2557-1
TEL 072-862-0594

2015 ~ 2019

懐かし写真館

